

2009

7

No. 46

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこじま



夏の宮古島を駆け抜ける!

～第2回 ツール・ド・宮古島～

第2回ツール・ド・宮古島2009(宮古島市・パワースポーツ主催)が6月6日・7日の2日間に渡って開催されました。

今年で2回目となる本大会は、宮古島全域をコースとするロードレース大会で、6日はゆっくりと景色を楽しみながら完走を目指す「サイクリングの部(60km・100km)」、7日は速さを競う「ロードレースの部(100km・160km)」がそれぞれ開催されました。

出場した選手達は、初夏の宮古島のさわやかな風と景色を楽しみながらレースを満喫していました。



今月の主な内容

夏の海にはご用心! ～水難事故防止実施中～ ……P2

定住自立圏等民間投資促進交付金について ……P4

お知らせ(夏の交通安全県民運動実施ほか) ……P8



— 万が一のため「心肺蘇生法」を覚えよう —

①反応を確認する

傷病者の耳もとで「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応がないかを見ます。



②助けを呼ぶ

反応がなければ、大きな声で「誰かきて！人が倒れています！」と助けを求めます。協力者が来たら「あなたは119番へ通報してください。」「あなたはAED(自動体外式除細動器)を持ってきてください」と要請します。



③気道の確保

片手を額にあて、もう一方の手の人差指と中指の2本であご先(骨のある硬い部分)にあてて、頭を後ろにのけぞらせ、あご先をあげます。



④呼吸の確認

気道を確保した状態で、自分の顔を傷病者の胸に向けながら、頬を傷病者の口鼻に近づけます。確認は10秒以内で、①胸や腹部の上がり下がりを見て、②息の音を聞いて、③頬で息を感じます。



⑤人工呼吸及び胸骨圧迫
(心臓マッサージ)

正常な呼吸がなければ、口対口人工呼吸により息を吹き込みます。



- 気道を確保したまま、傷病者の鼻をつまむ
- 口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気がもれないようにして、息を約1秒かけて吹き込み、傷病者の胸が持ち上がるのを確認する
- 一度口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む
- 2回の人工呼吸が終わったら、ただちに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始する
- 胸骨圧迫は、相手の胸の真ん中で両手を重ねて肘をまっすぐに伸ばし、手の付け根の部分に体重をかけて、傷病者の胸が4~5cm沈むほどの強さで行う
これを1分間に100回の速いテンポで30回連続して絶え間なく続ける

⑥心肺蘇生法の継続実施
(胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせを継続)
胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ(30:2)を、救急隊に引継ぐまで絶え間なく続けます。中止するのは、①心肺蘇生法を続けているうちに傷病者がうめき声を出したり、普段と通りの息をし始めた場合、②救急隊に心肺蘇生法を引き継いだ場合です(救急隊が到着しても中止せず、救急隊の指示に従う)。

★市消防本部では、心肺蘇生法やAEDの講習を行っています。詳しくは、市消防本部救急課(72-4358)までお問い合わせ下さい。

★宮古島市における水難事故の推移

年(平成)	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
発生件数	12	3	10	7	5	5	4	6	6	6
(うち観光客数)	4	3	1	0	2	1	2	4	3	3
水死者数	6	1	5	4	3	4	3	4	5	6
(うち観光客数)	1	1	1	0	2	1	1	3	2	3
シュノーケルによる死亡者数	1	1	1	0	0	1	0	2	2	2
(うち観光客数)	1	1	1	0	0	1	0	2	2	2



水難事故防止運動ポスター
県内最優秀賞
池間中3年 平良光希さん

夏の海にご用心!

— 平成21年水難事故防止運動実施中(4/24~8/31) —

これから夏場にかけて、海でのレジャーを楽しむ機会が増えます。海でのレジャーの際には、水難事故の危険性を十分認識し、事故防止のために注意事項を守って、楽しい思い出だけを持ち帰りましょう。

— 海でのレジャーを楽しむための注意事項 —

- 一人では泳がない
万が一に備えてなるべく単独行動を避け、二人以上で行動し、特に子どもからは目を離さない
- 泳ぐ場所の確認
波浪注意報・警報が出されているときや波が高い時は泳がない
また、一見すると穏やかに見えても、潮の流れが速かったり、離岸流などが発生する場合がありますので注意!
- 飲酒後や疲れている時は危険なので泳がない
飲酒後の水泳は身体にかかる負担が大きく、事故につながりやすい
- 水分補給を忘れずに
炎天下での日射病、熱射病の対策として、十分に水分補給をすること
- 海の危険生物に気をつける
海の生物の中には毒をもつものがあるので、むやみに近づいたり、刺激するのはやめよう
- シュノーケリング事故に注意する
講習を受け正しい使用方法を身に付けよう

事故多発中につき
特に注意!

シュノーケルは正しく使いましょう!



【正しい泳ぎ方】
あごを上げて、先端が常に水面から出るようにする



【悪い泳ぎ方】
あごを引いて、先端が水中に浸かっている
常時水で満たされ、危険

必須技能

- マスククリア…マスクの上部を押さえ、下側に隙間を開け、鼻から息を吐きだしてマスク内の水を抜くこと
- シュノーケルクリア…息を一気に吹き出し、シュノーケル内の水を出すこと

水難事故防止運動
標語

- 青い海 一人の海は 赤信号
- 「もしもし」「もしもし」が事故のもと
- ちゅう海がほんの油断でナニタタ

シュノーケリングの事故が多発しております
次の安全対策5原則を守りましょう

- ① 浮力の確保
ライフジャケット、ウェットスーツを着用すること
- ② 単独で泳がない
バディシステム(二人一組で海に入ること)
- ③ 自己流は危険
シュノーケリング器材の基本を習得してから始めましょう
- ④ 飲酒・体調不良時は事故のもと
飲酒してのシュノーケリングは自衛行為!
- ⑤ 泳ぐ場所の確認
知らない海は離岸流等が発生する場合があります。危険な海域では、必ずに泳いではいけません!

年金 アラカルト

市民生活課 ☎ 72-3751(内線 160)

ご存知ですか? 『免除制度』

経済的な理由で保険料を納めるのが困難なときは、申請して認められると免除、または猶予されま

☆免除制度

本人・配偶者・世帯主の前年度の所得に応じて「全額免除」と「一部免除」にわかれます。

一部免除	全額免除	納付なし
	3/4 免除	1/4 納付 ▶ 3,670 円
	半額免除	半額納付 ▶ 7,330 円
	1/4 免除	3/4 納付 ▶ 11,000 円
	全額納付	▶ 14,660 円
		保険料 (月額)

免除の対象となる所得(収入)の目安

扶養人数	全額免除	3/4 免除	半額免除	1/4 免除
扶養なし	57(122)	93(158)	141(227)	189(296)
1人 (夫婦のみ)	92(157)	142(229)	195(304)	247(376)
3人 (夫婦+子2人)	162(257)	230(354)	282(420)	335(486)

単位: 万円

☆若年者納付猶予制度

本人と配偶者の所得が一定以下(単身の場合、57万円が目安)の20歳以上30歳未満の人は、申請によって保険料の納付を後払いにできます。猶予期間は7月から翌年の6月までです。

☆学生納付特例制度

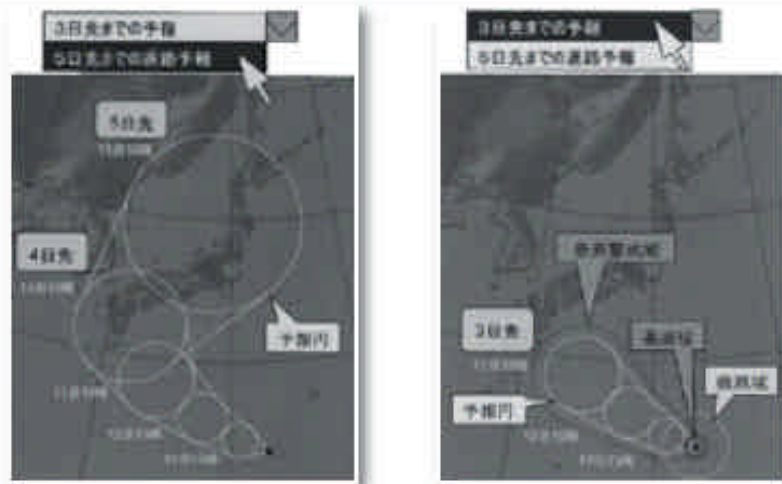
本人の所得が一定以下の学生(扶養親族等がない場合、一般的な社会保険料控除を加えた目安は141万円)は、申請により在学期間の保険料を後払いにできます。特例の対象となる期間は、4月から翌年の3月までです。

☆納め忘れに注意

承認を受けても、一部免除該当の人は減額された保険料の納付が必要です。納付がないと「未納扱い」になりますので、納め忘れに注意しましょう。



0010 地方気象台 ☎ 72-3051



3日先までの予報を(右図)を従来通り発表した後、さらに4日および5日先の進路予報(左図)を発表します。5日先までの進路予報では、3日先までの予報とは別の図で予報円のみを示します。

4日および5日先の進路予報は、3日先に台風の勢力を維持すると予報した台風に対して行います。ただし、予想進路および過去の統計から4日先または5日先に台風ではなくなると予報している場合は、4日先または5日先に台風ではなくなっている可能性があります。予報を省略することはありません。

気象台では、台風災害に備えた早期の防災準備活動の支援を目的として、平成21年4月22日以降に新たに発生する台風に対して、波滞の3日先までの予報に加えて、4日および5日先の進路の予報を発表しています。3日先までの予報は従来通り発表です。



防災ひとくちメモ

台風進路予報の予報期間を5日先まで延長します

一定住自立圏等民間投資促進交付金

あなたの「一歩目」を応援します

一定住自立圏等民間投資促進交付金とは、一定住自立圏等において、「あと一歩」で実現が期待される民間の取組を支援し、圏域全体の暮らしに必要な都市機能等を確保するため、都道府県が民間投資に係る初期費用の助成を行う場合に、その実施に要する経費を交付する事業です。

《対象となる法人》

宮古島市において、「一定住自立圏構想の推進」および「周辺市町村(旧市町村)の住民の便益の向上」が見込まれる事業を**新規に実施**する民間事業者等で、下記に該当する法人

- ①会社(株式会社、合名会社、合資会社) ②医療法人
- ③社会福祉法人 ④学校法人 ⑤一般社団法人・一般財団法人
- ⑥その他特にふさわしいと認められる法人

《対象となる事業》

下記4分野の施設または設備の建設費等(※)で、都道府県が圏域における生活に必要な機能の確保に資すると認めた事業
※増改築、耐震化または機能強化を伴う改修を含む

《事業の申込について》

平成21年7月21日(火)までに指定の「応募書類(申込書および関係書類一式)」を宮古島市企画調整課へ持参または郵送
※申込書は宮古島市企画調整課で配布または宮古島市ホームページ(<http://city.miyakojima.lg.jp>)でDLできます

一定住自立圏構想とは…

地方圏(宮古圏域等)において安心して暮らせる地域を形成し、大都市圏への人口流出を防ぐとともに、大都市圏の住民にもそれぞれの生活にあった居住の選択肢を提供して、地方圏への人の流れを創出することを目的に推進される施策のこと。

今回の交付金は、一定住自立圏構想の一部として、圏域全体の暮らしに必要な都市機能の強化・充実に必要な民間投資を、初期費用の面で支えるために交付されるものです。

お問合せは

企画調整課 地域活性化推進班

☎ 72-4878(内線 443)

一定住自立圏等の形成が見込まれる地域

1. 医療・福祉機能の充実(投資額の50%以内)
 - ・病院、診療所、医療機器、ヘリポート、ドクターヘリ等
 - ・保育所、居宅介護、福祉サービスの拠点施設等
3. 地域公共交通の充実(投資額の50%以内)
 - ・バス、鉄道、船舶交通に必要な車両や船舶、待合施設、ターミナル等(路線開設や機能向上等を伴うもの)
 - ・ICカード、デマンドシステム等



2. 購買環境等の整備(投資額の①30%以内 ②10%以内)
 - ① 駐車場、駐輪場、バリアフリー仕様の賃貸住宅、移動販売車、コミュニティ広場等
 - ② 地域の核として必要な商業施設(映画館等)
4. 人材育成や研究機能の強化(投資額の50%以内)
 - ・私立の大学や中高一貫校等の校舎、設備等

うまかい!がまんかい!

宮古島の話題

[The Topics]

ヒコーキ何秒飛べるかな?

～ 第5回 親子折り紙飛行機大会 ～



6月7日、第5回親子折り紙飛行機大会(主催:NPO 宮古活性化委員会)が市総合体育館で開催されました。

日本折り紙ヒコーキ協会会長で、折り紙飛行機滞空競技世界チャンピオンの戸田拓夫さんが講師を務めた今大会。参加した約100組の親子たちは、戸田さんからよく飛ぶ紙飛行機のコツを教わりながら自作の紙飛行機を作り、デザインや滞空時間を競いました。

会場には、終始「飛んだ、飛んだ!」「すごーい!」などの喚声が響き、子どもより親が熱中する場面も見られ、親子でイベントを満喫していました。



新たな観光拠点に

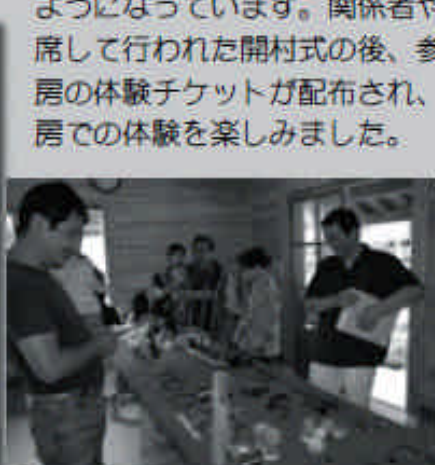
— 宮古島市体験工芸村 開村式 —



5月30日、市熱帯植物園内で整備が進められていた宮古島市体験工芸村の開村式が行われ、体験工芸村が正式に開村(オープン)しました。この工芸村は、島の特性を活かした滞在型・参加型の観光を促進を目的とした沖縄体験滞在交流促進事業を活用して整備されたもので、荒天時でも利用できる宮古島における新たな観光拠点として期待されている施設です。

工芸村には、織物・陶芸・チガヤ・万華鏡・藍染め・貝細工・木細工・郷土料理・宮古馬乗馬の9つの体験工房があり、どの工房でも宮古島の素材で自分だけのオリジナルグッズが作れる

ようになっています。関係者や市民が多数出席して行われた開村式の後、参加者には各工房の体験チケットが配布され、それぞれの工房での体験を楽しみました。



← 左: 藍染め工房
中央: 万華鏡工房
右: 木細工工房

歌と音楽と会話で魅了

～ ランチタイムコンサート ～

6月1日、市役所平良庁舎ロビーで宮古島市出身のミュージシャン砂川恵理歌さんによるランチタイムコンサートが開かれました。

砂川さんは、宮古の民謡や実話に基づいて作詞された「一粒の種」などを美しい歌声で披露し、市役所に訪れた多くの市民がうっとり聞き入っていました。



砂川 恵理歌

また、6月12日には、地元宮古島で活躍中の「重ちゃん & ナニカヨー!? まず!!」と、同日のミヤコアイランドロックフェスティバルに出演した「ARIA ASIA(アリア・エイジア)」によるランチタイムコンサートが開かれました。

2つのグループは軽妙な会話と美しい音楽で、ロビーを埋め尽くした多くの市民を魅了していました。



ARIA ASIA



重ちゃん & ナニカヨー!? まず!!

市民の文化の祭典

— 第4回 宮古島市民総合文化祭 —

5月30日・31日の両日、中央公民館で第4回宮古島市民総合文化祭一般の部「春の文化祭」(主催:宮古島市・宮古島市教育委員会・宮古島市文化協会)が「創造する市民の文化～美しい自然・育てあう街」をテーマに開催されました。

これは、市民によって文化・芸術を活性化させることで、心豊かなまちづくりを目指すために毎年開催されているもので、今年で4回目となります。

会場の中央公民館には、盆栽や園芸品、木製人形等の工芸品、宮古織などの展示のほか、機織り体験や茶道体験などのコーナーも設置され、多数の市民で賑わいを見せていました。



テストが赤点の生徒曰く「何が分からんのか分からん」。…徹底指導決定。(PN. とある塾講師)

爽やかなプレーに大喝采! 島を湧かせた伊良部高校バレー部に感謝。(PN. 伊良部島民)